

【施策評価シートの見方】

【裏面】

後期基本計画に掲載されている施策名が記載されています。

【表 面】

2年度 施策評価シート《令和元年度評価》

評価日	令和2年9月30日	No.	6 - 4
施策名	第4節 計画的・総合的な行政の推進	所管部署名	政策室
まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者	野尻 宗一
施策小項目	1 行政評価によるマネジメントの推進	関連部署名(1)	政策室
施策小項目	2 品質マネジメントシステムの推進	関連部署名(2)	
施策小項目	3 計画的な行政改革の推進	関連部署名(3)	
施策小項目	4 組織体制の整備	関連部署名(4)	
施策の目的	・明確な目標設定と評価、評価に基づき継続的改善が行われることをめざす。 ・市民満足度のより一層の向上をめざす。 ・社会情勢等により変化する行政需要に迅速かつ確に対応できる組織をめざす。 ・職員研修の充実により職員の能力向上、専門性の育成を推進するとともに、優れた		
役割分担	第4次よしかわ行政改革大綱(平成27年度～令和元年度) 吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年度～令和元年度) 吉川市定員適正化計画(平成27年度～令和2年度) 吉川市人材育成基本方針(平成30年度～)		

施策を行う目的を記載しています。

後期基本計画に掲載されている施策小項目名が記載されています。

施策を実現するために必要な役割分担について「市民」「行政」の視点から記載しています。

指標の性質	単位	設定時の値	実績値(年度)	目標値(目標年度)	達成状況	最終目標値(目標年度)
組織に対する満足度	%	72.3	73.6	76.9	D	80.0
事務事業評価の達成度	%	77.7	80.2	79.2	A	80.0
増加することが良いとされる指標		H28	R1	R1		R3
増加することが良いとされる指標		H27	R1	R1		R3

当該施策を構成する事務事業名及び事務事業の成果指標を記載しています。

評価軸①「指標の達成状況」は、本施策の指標の目標達成度（全指標の評価平均点）を記載しています。
 評価軸②「施策の進捗状況」、③「市民ニーズの反映度」、④「施策に対する事務事業の構成」については、4段階で評価し、評価の理由を記載しています。

施策の達成状況を測る指標が記載されています。指標ごとに達成状況が記載されています。

評価軸①～④の評価点の平均点を総合評価として、得点とレーダーチャートで表しています。

本施策の令和元年度における取組内容などを記載しています。

評価軸	評価方法	評価点
評価軸① 指標の達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	合計点は 5点 3点
評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調（最終年度には100%以上の達成度の見込み） <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調（最終年度には80%以上の達成度） <input type="checkbox"/> やや順調でない（最終年度には50～80%程度達成度） <input type="checkbox"/> 順調でない（最終年度には50%未満の達成度）	3点
評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	3点
評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	4点

・第5次総合振興計画後期基本計画の推進にあたっては、社会情勢や市民ニーズ、財政状況などの変化に柔軟に対応できるよう、第5期実施計画の策定を行った。
 ・行政改革大綱については、各取組の進捗管理を行いながら、SDGsなどの新たな視点を加え、「第5次よしかわ行政改革大綱」を策定した。
 ・総合戦略については、事業の進捗などに併せて具体的な取組の整理を行い、SDGsなどの新たな要素を盛り込み改定した。
 ・職員研修については、SDGsを意識した広い視野を持つことで、新たな解決策を導き出せるよう、「SDGs研修」を実施した。

本施策の評価、現状と課題を踏まえ、今後の展開について記載しています。

本施策に関する現状と課題を記載しています。

施策に関する現状と課題

・多様化する市民ニーズや新たな行政課題に柔軟かつ迅速な対応が求められている。効果的かつ効率的な行政運営を行うため、限られた資源の効率的な活用や、民間企業との連携を推進していく必要がある。
 ・人口減少に伴って、職員一人ひとりの資質の向上が不可欠と

総合評価 3点

評価軸①～④の評価点の平均点

施策評価レーダーチャート

・第5次吉川市総合振興計画後期基本計画を計画的に推進するために、第5期実施計画の改定を行う。
 ・令和3年度に現行の第5次総合振興計画が計画満了となることから、第6次吉川市総合振興計画の策定を進める。
 ・市民ニーズの多様化や社会情勢の変化に対応していくため、適正な職員の定員管理に努める。
 ・ISO9001品質マネジメントシステムを活用することで、継続的な改善を図り、市民満足度の向上を図る。
 ・業務プロセス管理表に関して、その意義や管理意識について、改めて周知・徹底を図り、より効率的な事務を進めていく。